

伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

伊方発電所 3号機 補助ボイラ室火災感知器の不具合について

事 象

7月1日6時56分、定期検査中の伊方発電所3号機の中央制御室において、補助ボイラ室の火災の発生を示す信号が発信したことから直ちに現地確認を行い、火災のないことを確認しました。

現場調査の結果、補助ボイラ室内に設置している火災感知器のうち、煙感知器の1台に不具合があると判断しました。

その後、当該感知器を取替えて動作確認を行い、11時10分に通常状態へ復旧しました。

原 因

本事象発生時、伊方発電所では、雨が降っていたことから、補助ボイラ室の湿度が一時的に高くなっていたものと考えられ、当該感知器のみにおいて内部に結露が発生し、火災信号発信に至ったものと推定される。

対 策

- ・当該感知器の取替えを行い、正常に動作することを確認し、通常状態に復旧した。
- ・これまでと同様に、当該消火設備においては定期的な点検を行うとともに、万一の不具合等に備え、速やかに対応するため予備感知器を常備する。

伊方発電所 3号機 補助ボイラ建屋消火設備 信号概略図

